

いなべ市シルバースローガン

慣れた手も 緩んだ気持ちが 事故招く

◆ 9 月 3 件の賠償事故が発生

- ① **賠償事故** 9 月 1 日（木）男性就業者。刈払機を使って車庫前で草刈り作業をしていたところ、石が飛び跳ね、車庫に保管のワンボックス普通乗用車のリア・ウィンドウを直撃し全面破損。防護ネットは使用していなかった。事前に施主に声を掛けて車庫の扉を全て閉める、乗用車を移動する、ナイロン・カッターからチップ・ソーに取り換える、及び車庫に背を向けて作業するなど、何らかの防衛手段があったのではないか、と考えられる一件でした。
- ② **賠償事故** 9 月 5 日（月）8 時 40 分頃、男性就業者。工場内でフォークリフト作業中、出勤してきた軽四乗用車がリフトの真後ろを徐行しながら通り抜けようとした際、軽自動車とバックしたリフトと接触。軽四乗用車の右側ドア 2 枚とバンパーを損傷。車両通行帯が作業場に隣接していること、および従業員の出勤時間帯であることを念頭に、就業者がリフトを発進させる前に前後左右の確認をしておれば、と悔やまれる事故でした。
- ③ **賠償事故** 9 月 26 日（月）給食班の男性就業者。新規配属されたパワー・ゲート式トラックのリフトの取扱いに不慣れであったことから、就業者はマニュアル通りの操作を行っていたものの、微妙な操作ミスによって、ゲートのフック部分を破損。

シルバー事業	9 月発生分	年度累計
傷害事故	0	4
賠償事故	3	10
計	3	14

◆ 第 2 回安全適正委員会 開催報告

去る 9 月 26 日（月）、第 2 回安全適正委員会が開催されました。今年度報告があった事故例の反省点、原因究明、対策等について話し合った中、特に話題となったのは「草刈り作業中の飛び石による車のウインドウ破損」といった、これまでも随分注意喚起を行ってきた案件です。防護ネットを使用しておればこのような事故は防げたのではないか、という基本行動の怠慢は、「誠実・堅実」がモットーのシルバー精神にもとる行為であり、「注意すると反論され、人間関係に溝がでかかねない」といった意見も飛び交うなど本音が交錯する忌憚のない意見交換の場となりました。

- ・「安全第一」の言葉を人に物に生かし、防護ネット等安全器具の使用を徹底しましょう。
- ・段違いや法面では自分のやり易い体勢で作業し、周囲の状況をよく確認しない上、「もしも飛び石が発生したらどうなるか？」など危険予知が不十分である事が多く見うけられる。
- ・「自分は大丈夫」といった慣れで作業をしていることが事故の要因です。

*** 10～12 月にて、剪定作業を対象に安全パトロールを実施します。**

秋を迎え、剪定、枝払い、伐採作業が本格化しています。大型で凶暴なスズメ蜂が、今年は例年に比べて多く見かけられるそうです。作業着手前には充分ご注意ください。

さて、安全適正委員会では 10～12 月の間で、各地区につき 1 ヶ所、計 4 ヶ所を対象に「安全パトロール」を実施いたします。実施日、就業場所およびパトロール員（安全委員 2 名編成）の選考は、安全委員会三役と地区担当職員とで協議の上、決定します。

